

書は芸術なのか

会員の皆様、書とは芸術。

私は、芸術ではなく、クロスオーナーシップだと思っています。

しかし、自分の書（作品）を見つめてください。

笑ったり泣いたりするあなたのように、書（作品）にも豊かな表情があります。

書は言葉であり人（自分）です。

書（作品）は時代をつなぎ、人をつないでいきます。

自分が、考えていること、伝えたいこと、喜び悲しみ怒り
楽しみ（喜怒哀楽）を書（作品）に託してみてもは。

会員の皆様、書を楽しんでいますか。

書を楽しみましょう。

2022年5月 煌陵 記